

第2次総合計画施策評価シート《令和3年度分》																		
施策コード		基本目標		2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち													
2	—	3	施策目標		3	健康づくり・医療体制の充実												
SDGs 連携分野			目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する															
			目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する															
																		
目指すべきまちの姿			誰もが健康管理を意識して、こころもからだも元気で安心して暮らせるまちになっています。															
●主要施策と概要【PLAN】					この1年間の成果及び反省点【DO】					担当課		評価【CHECK】						
(1) 健康づくり推進体制の充実 ・市民の主体的な健康づくりの取組を支援します。					コロナ禍により、健康フェスタは中止しました。マイレージ参加者は増加しました。今後も市民が主体的に健康づくりに取り組むよう周知を図ります。					健康推進課		C						
					(2) 健康診査・指導等の充実【重点施策】 ・特定健診やがん検診等の健康診査の充実、健康教育・健康相談等の充実を図るとともに、生活習慣病予防に向けた健康診査及び保健指導を促進します。					コロナ禍における受診控えが起こらないように検診受診の必要性を啓発しました。また、健康教育においては方法を工夫して実施しました。今後も引き続き実施します。					健康推進課		B	
										新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、個人に合わせた受診勧奨の結果、健診受診率が向上しました。(39.9%→42.9%)					保険年金課		B	
(3) 母子保健の充実 ・妊娠・出産期から乳幼児まで、家庭訪問や相談、健康診査・予防接種の充実、育児に関する学習・交流の場の提供、不妊治療対策などを推進します。					コロナ禍ではあるが感染対策を講じて乳幼児健診は実施しました。健康教育はオンライン開催を行いました。赤ちゃん訪問は希望制にしたため実施率が減少しましたが、訪問に伺えない場合は電話や面接で状況の確認をして、適切な保健指導を行いました。					健康推進課		B						
					(4) 歯科保健の充実 ・歯科健診・歯周病検診及び歯科教室・歯科相談などの充実を図り、生涯を通じた歯の健康づくりを推進します。					コロナ禍のため歯科保健活動が十分に実施できない状況ではありましたが、お口の健康づくりが疎かにならないように教室の内容を変更し実施しました。また検診控えが起こらないように必要性を啓発しました。今後も引き続き実施します。					健康推進課		B	
コロナ禍で事業が中止及び縮小される中で、児童福祉施設等で実施した事業は次のとおりです。 ＜保育所＞歯科健診(年1回又は2回)、フッ化物洗口(給食後) ＜子育て支援センター＞歯磨き教室										児童課		A						
歯の健康の保持増進のため、学校で歯科検診を行い、歯・口腔の異常の早期発見及び予防に努めました。										学校教育課		A						
(5) 地域医療体制の充実 ・日頃の健康管理によって疾病予防や病気の早期発見・早期治療ができるよう、かかりつけ医・薬剤師の普及を図ります。 ・救急患者の受入、治療を行う地域の二次救急医療機関及び三次救急医療機関や休日、夜間に診療を行う急病診療所等と連携し、安全・安心な地域づくりを推進します。										国民健康保険加入者にかかりつけ医をもつことや、かかりつけ薬局をもつように啓発し、普及を図りました。					保険年金課		B	
					救急医療対策のため、海部地域の市町村と連携し、医師会や第2次救急医療担当病院と協力して円滑な運営を図りました。今後も計画通りに事業を進めます。					健康推進課		A						
(6) 国民健康保険財政の安定化 ・国民健康保険事業を適正に運営します。 ・増え続ける医療費の抑制に取り組みます。					コロナによる受診控えの影響により、令和2年度は医療費が減少しましたが、令和3年度はコロナ禍前の水準に戻って増加しました。重複服薬の指導やジェネリック医薬品の啓発により健康被害を防ぐと共に医療費の適正化につなげました。					保険年金課		B						
●施策目標に対する市民満足度							単位	現状値 (平成29年度)	目指す方向性	中間値 (令和4年度)								
各種検診など保健サービスの充実							%	43.9	↗									
地域医療の充実(医療施設整備、救急医療体制)							%	42.6	↗									

●成果指標		単位	現状値	各年度の実績値				目標値 (目指す方向性)	
			(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度
(1) やとみ健康マイレージ事業の参加者		人	243	274	261	323		300	400
(2) 胃がん検診受診率		%	15.2【17.1】	19.7	18.0	16.3		16.0	18.0
(2) 肺がん検診受診率		%	23.9【33.0】	22.7	20.2	21.2		28.0	34.0
(2) 大腸がん検診受診率		%	23.6【28.9】	22.7	19.8	21.4		30.0	31.0
(2) 子宮がん検診受診率		%	19.1【15.5】	18.9	21.0	24.9		25.0	26.0
(2) 乳がん検診受診率		%	19.0【13.7】	18.0	15.6	15.0		28.0	29.0
(3) 赤ちゃん訪問実施率		%	97.9	88.0	91.7	63.8		98.0	98.2
(4) 定期的(年に1回以上)に歯科検診を受診している率		%	64.2	65.9	65.3	65.5		70.0	75.0
(6) 特定健診受診率(40歳以上国保加入者対象)		%	43.6	45.1	39.9	42.9		60.0	65.0
(6) 国民健康保険被保険者1人当たりの医療費		円	318,150	343,888	351,614	368,225		320,000	340,000
事業No	実施計画に係る事業名		担当部署	今後の進め方【ACTION】					
(1-1)	健康フェスタ事業		健康推進課	新型コロナウイルス流行のため健康フェスタは中止しましたが、「健康セミナー」と名称も新たに、健康づくりに資する内容に見直します。				改善	
(1-2)	健康マイレージ事業		健康推進課	市民が健康づくりに取り組むきっかけの一つとして取り組むことができるよう周知啓発を行うとともに、健康マイレージアプリを導入し、事業内容を改善します。				改善	
(2-1)	各種健康教育事業		健康推進課	コロナ禍の中、延期した事業もありましたが、実施方法を変え一部事業を実施しました。終息が見込めない中、ウイズコロナで実施できるよう検討していきます。				現状維持	
(2-2)	各種健(検)診事業		健康推進課	2年目のコロナ禍において受診者数は若干回復しましたが、今後も疾病の早期発見・早期治療を第一にがん検診受診の必要性を啓発し実施します。				現状維持	
(2-3)	特定健康診査、特定保健指導事業		保険年金課	令和3年度はコロナ禍の中でも各健診事業が予定どおり行われ、効率的に受診勧奨を行ったことにより受診率が向上しました。令和4年度はさらに受診率を向上するため、新たな取り組みを行う予定です。				改善	
(2-4)	予防接種事業		健康推進課	新型コロナウイルスとの同時流行を防ぐため、こども及び妊婦のインフルエンザ予防接種助成を開始しました。引き続きホームページ等で予防接種の重要性を周知します。				現状維持	
(3-1)	妊産婦健診事業		健康推進課	コロナ禍で受診率が若干減少しましたが、妊産婦の健康管理のため、今後も現状の計画通りに事業を進めます。				現状維持	
(3-2)	産後ケア事業		健康推進課	支援が必要な方が利用できるように、今後も現状の計画通りに事業を進めます。				現状維持	
(3-3)	赤ちゃん訪問事業		健康推進課	母の育児不安を軽減するため、今後も現状の計画通りに事業を進めます。				現状維持	
(3-4)	乳幼児健診事業		健康推進課	乳幼児の健康管理のため、今後も現状の計画通りに事業を進めます。				現状維持	
(4)	歯周病検診事業		健康推進課	近年は予防歯科が中心となっているため、コロナ禍においても歯周病検診が充実するように、今後も現状の計画通りに事業を進めます。				現状維持	
(5-1)	広域二次病院群輪番制事業		健康推進課	対象外				対象外	
(5-2)	休日、夜間診療広域連携事業		健康推進課	対象外				対象外	
(5-3)	病院施設整備補助事業		健康推進課	対象外				対象外	
(5-4)	病院運営費補助事業		健康推進課	対象外				対象外	
(6-1)	特定健康診査、特定保健指導事業(再掲)		保険年金課	令和3年度はコロナ禍の中でも各健診事業が予定どおり行われ、効率的に受診勧奨を行ったことにより、受診率が向上しました。令和4年度はさらに受診率を向上するため、新たな取り組みを行う予定です。				改善	
(6-2)	ジェネリック医薬品の使用促進事業		保険年金課	ジェネリックに切り替えることにより医療費の削減効果の期待できる薬剤について、ピンポイントで抽出し差額通知を行いました。医療費増加の抑制につなげるため、今後もジェネリック医薬品の使用促進の啓発を様々な方法で行っていきます。				現状維持	
(6-3)	重複・頻回受診指導事業		保険年金課	重度・頻回受診者を抽出し、保健師により適正化医療の指導を行うことで、薬剤の重複による健康被害が改善され、医療費増加抑制につながりました。今後も継続して指導を行います。				現状維持	
施策の今後の方針【ACTION】		市民一人ひとりが自分の健康状態を把握し、自らが健康づくりに取り組めるよう各計画に基づき健康サービスを提供するとともに、日常的な健康管理を支える地域医療機関との更なる連携強化を図ります。							

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(1-1)	健康フェスタ事業					健康推進課	保健企画グループ	令和4年7月1日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	3	健康づくり・医療体制の充実						
	主要施策	1	健康づくり推進体制の充実						
	主要事業		健康フェスタ事業						
SDGs 連携分野	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	目標 17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する								
	5ジェンダー平等を実現しよう 17パートナーシップで目標を達成しよう								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	市民こそって健康を願い、健康の大切さを自覚し、自主的・主体的に健康づくりに取り組むよう支援を行います。					主な協働・関連団体等	健康まつり実行委員会		
事業概要	6月第4日曜日に保健センターをメイン会場に健康について考えるイベントを開催します。血圧測定などの健康チェックコーナーや医師による健康講座や健康相談、市社会福祉協議会による福祉コーナーなどを催します。					関連する個別計画・根拠法令等			
事業の開始・終了	開始年度	令和元	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】										
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	負担金、補助及び交付金	5	需用費	700	需用費	700	需用費	700		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
			委託料	400	委託料	400	委託料	400		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
			使用料及び賃借料	250	使用料及び賃借料	250	使用料及び賃借料	250		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
			役務費	100	役務費	100	役務費	100		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
		報償費等	300	報償費等	300	報償費等	300			
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)				
合 計	5	合 計	1,750	合 計	1,750	合 計	1,750			
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0			
成果指標			単位	現状値	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)	
				(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(1-2)	健康マイレージ事業					健康推進課	成人保健グループ	令和4年7月4日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	3	健康づくり・医療体制の充実						
	主要施策	1	健康づくり推進体制の充実						
	主要事業		健康マイレージ事業						
SDGs 連携分野	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	3 すべての人に健康と福祉を 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	市民個人個人が自分自身の健康づくりに関心を持ち、健康づくりに取り組むことを支援します。					主な協働・関連団体等	愛知県		
							健康マイレージ協力店		
事業概要	県と市が協働で実施する主体的な健康づくりを応援するための事業。自分で決めた健康づくりを実践し、ポイントをためることで「まいか（あいち健康づくり応援カード）」が発行され、市民が自身の健康づくりに取り組むことができるよう内容を計画し実施します。					関連する個別計画・根拠法令等	弥富市健康増進計画		
事業の開始・終了	開始年度	令和元	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】										
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	報償費	83	報償費	83	報償費	83	報償費	83		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	需用費	181	需用費	198	需用費	198	需用費	198		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	合 計	264	合 計	281	合 計	281	合 計	281		
	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0		
成果指標			単位	現状値	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)	
				(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度
(1) やとみ健康マイレージ事業の参加者			人	243	274	261	323		300	400

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(2-1)	各種健康教育事業					健康推進課	成人保健グループ	令和4年7月4日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	3	健康づくり・医療体制の充実					○	
	主要施策	2	健康診査・指導等の充実						
	主要事業		各種健康教育事業						
SDGs 連携分野	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	3 すべての人に健康と福祉を 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	健康づくりを日々の生活に取り入れて、市民すべてが元気で生き生き暮らせるまちづくりを目的とします。					主な協働・関連団体等			
事業概要	高血圧や糖尿病などの生活習慣病についての知識の普及、自分の健康状態を知り生活習慣の見直し・改善につなげる健康教室を開催します。					関連する個別計画・根拠法令等	健康増進法		
							弥富市健康増進計画		
事業の開始・終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】										
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	報償費	64	報償費	104	報償費	104	報償費	104		
	(補助額)	42	(補助額)	69	(補助額)	69	(補助額)	69		
			需用費	30	需用費	30	需用費	30		
	(補助額)		(補助額)	20	(補助額)	20	(補助額)	20		
			役務費	6						
	(補助額)		(補助額)	4	(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)				
合 計	64	合 計	140	合 計	134	合 計	134			
(補助額)	42	(補助額)	93	(補助額)	89	(補助額)	89			
成果指標			単位	現状値 (平成29年度)	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)	
					令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(2-2)	各種健（検）診事業					健康推進課	成人保健グループ	令和4年7月4日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	3	健康づくり・医療体制の充実					○	
	主要施策	2	健康診査・指導等の充実						
	主要事業		各種健（検）診事業						
SDGs 連携分野	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	3 すべての人に 健康と福祉を 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	市民すべてが元気で生き生き暮らせるまちづくりを目標に、疾病の早期発見や治療だけでなく、生活習慣改善を行い健康増進を図ることにより、壮年期の死亡の減少及び寝たきりにならないよう健康寿命の延伸に努めます。					主な協働・ 関連団体等	海部医師会		
							津島市医師会		
							海南病院		
事業概要	海南病院における総合がん検診、海部地区内の指定医療機関による個別がん検診、バスで行う集団がん検診を実施します。					関連する 個別計画・ 根拠法令等	健康増進法		
							弥富市健康増進計画		
事業の開始・ 終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】										
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	委託料	49,686	委託料	61,817	委託料	61,817	委託料	61,817		
	(補助額)	1,020	(補助額)	2,324	(補助額)	2,324	(補助額)	2,324		
	役務費	2,282	役務費	2,443	役務費	2,443	役務費	2,443		
	(補助額)	979	(補助額)	1,080	(補助額)	1,080	(補助額)	1,080		
	需用費	257	需用費	495	需用費	495	需用費	495		
	(補助額)	15	(補助額)	17	(補助額)	17	(補助額)	17		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
合 計	52,225	合 計	64,755	合 計	64,755	合 計	64,755			
(補助額)	2,014	(補助額)	3,421	(補助額)	3,421	(補助額)	3,421			
成果指標			単位	現状値	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)	
				(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度
(2) 胃がん検診受診率			%	15.2 【17.1】	19.7	18.0	16.3		16.0	18.0
(2) 肺がん検診受診率			%	23.9 【33.0】	22.7	20.2	21.2		28.0	34.0
(2) 大腸がん検診受診率			%	23.6 【28.9】	22.7	19.8	21.4		30.0	31.0
(2) 子宮がん検診受診率			%	19.1 【15.5】	18.9	21.0	24.9		25.0	26.0
(2) 乳がん検診受診率			%	19.0 【13.7】	18.0	15.6	15.0		28.0	29.0
指標の分析			令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により受診率は横ばいから微増でした。子宮がん検診については妊婦子宮がん検診を令和2年度からは含めているため、増加しています。引き続きコロナ禍においても早期発見早期治療のために、がん検診受診の必要性を啓発していくことが重要です。							
■事業の評価【CHECK】										
項目		評価視点				評価の結果				
必要性		・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか				健康増進法に基づく健康増進事業として市町村が実施する必要があります。また、がんの予防及び疾病の早期発見のために市民にとって重要な事業です。				
効率性		・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性				がんの予防や疾病の早期発見のために、受診の必要性を広報やSNS、新型コロナワクチン集団接種時などの場を利用して啓発しました。また、対面での申し込みは避け、往復ハガキやウェブ予約の申し込みを引き続き活用しました。				
妥当性		・市・住民・団体が実施するのが良いか				健康増進法に基づく健康増進事業として市町村が実施する必要があります。				
施策への貢献度		・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果				がん検診や他の検診を受けることでがんや疾病の早期発見早期治療に繋がります。				
■今後の進め方【ACTION】										
課長意見								方向性		
2年目のコロナ禍において受診者数は若干回復しましたが、今後も疾病の早期発見・早期治療を第一にがん検診受診の必要性を啓発し実施します。								現状維持		

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(2-3)	特定健康診査、特定保健指導事業					保険年金課	特定健診グループ	令和4年6月29日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	3	健康づくり・医療体制の充実					○	
	主要施策	2	健康診査・指導等の充実						
	主要事業		特定健康診査、特定保健指導事業						
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	3 すべての人に健康と福祉を 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	メタボリックシンドロームの該当者、予備軍を早期に発見し、保健指導や適正な治療につなげ、生活習慣病の早期発見と予防をするとともに医療費の削減を目的とします。					主な協働・関連団体等			
事業概要	40歳から74歳までの国保加入者を対象として健康診査を行い、健康の保持に努める必要がある方に対し特定保健指導を行います。					関連する個別計画・根拠法令等		高齢者の医療の確保に関する法律	
								国民健康保険法	
								データヘルス計画	
事業の開始・終了	開始年度	平成20	年度	終了年度	令和10	年度	特定健診審査等実施計画		

■事業費(単位:千円)【DO】										
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	特定健康診査委託料	28,890	特定健康診査委託料	38,474	特定健康診査委託料	38,474	特定健康診査委託料	38,474		
	(補助額)	10,024	(補助額)	13,356	(補助額)	13,356	(補助額)	13,356		
	郵送料	814	郵送料	1,104	郵送料	1,104	郵送料	1,104		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	特定保健指導委託料	529	特定保健指導委託料	1,238	特定保健指導委託料	1,238	特定保健指導委託料	1,238		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	消耗品費	95	消耗品費	100	消耗品費	100	消耗品費	100		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	報償費	80	報償費	110	報償費	110	報償費	110		
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)				
合 計	30,408	合 計	41,026	合 計	41,026	合 計	41,026			
(補助額)	10,024	(補助額)	13,356	(補助額)	13,356	(補助額)	13,356			
成果指標			単位	現状値	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)	
				(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(2-4)	予防接種事業					健康推進課	保健企画グループ	令和4年7月1日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	3	健康づくり・医療体制の充実					○	
	主要施策	2	健康診査・指導等の充実						
	主要事業		予防接種事業						
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	3 すべての人に健康と福祉を 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために公衆衛生の見地から予防接種の実施その他必要な措置を講ずることにより、市民の健康の保持に寄与するとともに、予防接種による健康被害の迅速な救済を図ることを目的とします。					主な協働・関連団体等	海部医師会		
							津島市医師会		
事業概要	予防接種法に基づき、集団予防を目的とする感染症（A類疾病）と個人予防を目的とする感染症（B類疾病）を実施します。					関連する個別計画・根拠法令等	予防接種法		
事業の開始・終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	委託料	127,538	委託料	159,512	委託料	159,000	委託料	159,000
	(補助額)	1,579	(補助額)	3,449	(補助額)	3,400	(補助額)	3,400
	需用費	470	需用費	511	需用費	500	需用費	500
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	報償費	0	報償費	80	報償費	80	報償費	80
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	負担金・補助金	1,261	負担金・補助金	1,154	負担金・補助金	1,100	負担金・補助金	1,100
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	役務費等	683	役務費等	1,080	役務費等	1,100	役務費等	1,100
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	合 計	129,952	合 計	162,337	合 計	161,780	合 計	161,780
(補助額)	1,579	(補助額)	3,449	(補助額)	3,400	(補助額)	3,400	

[illegible]

指標の分析

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために極めて重要です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	こども及び妊婦のインフルエンザ予防接種助成を開始し、発症・重症化予防に努めました。医療費抑制につながります。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	予防接種法に基づく定期予防接種は、市町村が行うこととされています。A類疾病対象者は、予防接種を受けるよう努めなければならないとされています。B類疾病の予防接種対象者については、努力義務が課せられています。市で実施すべき事業です。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果	新型コロナウイルスの流行がありましたが、接種率はほぼ横ばいで事業を実施できています。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
新型コロナウイルスとの同時流行を防ぐため、こども及び妊婦のインフルエンザ予防接種助成を開始しました。引き続きホームページ等で予防接種の重要性を周知します。	現状維持

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(3-1)	妊産婦健診事業					健康推進課	母子保健グループ	令和4年7月4日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	3	健康づくり・医療体制の充実						
	主要施策	3	母子保健の充実						
	主要事業		妊産婦健診事業						
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	3 すべての人に 健康と福祉を 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	妊娠中の母子の健康管理と異常の早期発見、早期治療に努めるとともに、産後うつを早期発見し必要な支援につなげることで児童虐待を防止することを目的とします。					主な協働・ 関連団体等	医療機関		
事業概要	妊婦健診と子宮がん検診を実施します。また、平成30年度から開始した産婦健診は、産後8週以内の産婦を対象に1度の補助を実施します。					関連する 個別計画・ 根拠法令等	母子保健法		
事業の開始・ 終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】										
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	委託料	33,462	委託料	36,181	委託料	36,181	委託料	36,181		
	(補助額)	1,455	(補助額)	625	(補助額)	625	(補助額)	625		
	負担金、補助及び交付金	2,707	負担金、補助及び交付金	3,023	負担金、補助及び交付金	3,023	負担金、補助及び交付金	3,023		
	(補助額)	70	(補助額)	125	(補助額)	125	(補助額)	125		
	役務費	148	役務費	164	役務費	164	役務費	164		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	需用費	193	需用費	175	需用費	175	需用費	175		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	合 計	36,510	合 計	39,543	合 計	39,543	合 計	39,543		
	(補助額)	1,525	(補助額)	750	(補助額)	750	(補助額)	750		
成果指標			単位	現状値 (平成29年度)	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)	
					令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(3-2)	産後ケア事業					健康推進課	母子保健グループ	令和4年7月4日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	3	健康づくり・医療体制の充実						
	主要施策	3	母子保健の充実						
	主要事業		産後ケア事業						
SDGs 連携分野	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	3 すべての人に健康と福祉を 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	保健指導等を必要とする母子が医療機関に宿泊して、母親の身体的回復と心理的な安定を図ることで育児不安を軽減し、健やかな育児ができるように支援します。					主な協働・関連団体等	医療機関		
事業概要	生後6か月未満の乳児及びその母親に対し、医療機関にて（最長6泊7日）宿泊を伴った次のサービスを実施します。 ・母親への育児指導 ・授乳指導と乳房ケア ・乳児の健康管理 ・生活の相談と支援					関連する個別計画・根拠法令等	母子保健法		
事業の開始・終了	開始年度	令和元	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】										
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	委託料	377	委託料	573	委託料	573	委託料	573		
	(補助額)	188	(補助額)	250	(補助額)	250	(補助額)	250		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	合 計	377	合 計	573	合 計	573	合 計	573		
	(補助額)	188	(補助額)	250	(補助額)	250	(補助額)	250		
成果指標			単位	現状値	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)	
				(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(3-3)	赤ちゃん訪問事業					健康推進課	母子保健グループ	令和4年7月4日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	3	健康づくり・医療体制の充実						
	主要施策	3	母子保健の充実						
	主要事業		赤ちゃん訪問事業						
SDGs 連携分野	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	3 すべての人に健康と福祉を 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	生後4月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、母子の心身の状況や養育環境の把握と助言を行うことにより、母親が安心して育児ができるように支援します。					主な協働・関連団体等	児童課		
事業概要	生後4月までの乳児家庭に看護職が全戸訪問により次に掲げる事業を実施します。 ・母子の心身の状況や養育環境の把握と助言 ・育児に関する不安や悩みの相談 ・子育て支援に関する情報提供 ・要支援家庭に対しサービスの提供や関係機関との連絡調整					関連する個別計画・根拠法令等	児童福祉法		
							子ども子育て支援法		
事業の開始・終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】									
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	
	報酬	138	報酬	274	報酬	274	報酬	274	
	(補助額)	45	(補助額)	183	(補助額)	183	(補助額)	183	
	旅費	5	旅費	6	旅費	6	旅費	6	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	合 計	143	合 計	280	合 計	280	合 計	280	
(補助額)	45	(補助額)	183	(補助額)	183	(補助額)	183		
成果指標			単位	現状値	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)
				(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 令和10年度
(3) 赤ちゃん訪問実施率			%	97.9	88.0	91.7	63.8		98.0 98.2
指標の分析									
コロナ禍のため、令和3年度から訪問を希望制にしたため、実施率が低下しました。									
■事業の評価【CHECK】									
項目	評価視点				評価の結果				
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか				児童福祉法第6条において市町村における実施が定められています。				
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性				コロナ禍につき、訪問を希望制にしたため実施数が少なかった。訪問に伺えない場合は面接や電話で母子の状況を確認して適切な助言を行いました。				
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか				児童福祉法で定められているため市で実施することとなります。				
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果				早期介入により、母が安心して育児できるようになり、虐待予防にもつながります。				
■今後の進め方【ACTION】									
課長意見							方向性		
母の育児不安を軽減するため、今後も現状の計画通りに事業を進めます。							現状維持		

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(3-4)	乳幼児健診事業					健康推進課	母子保健グループ	令和4年7月4日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	3	健康づくり・医療体制の充実						
	主要施策	3	母子保健の充実						
	主要事業		乳幼児健診事業						
SDGs 連携分野	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	3 すべての人に健康と福祉を 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	乳児の健康管理を図り、異常の早期発見、早期治療につなげることを目的とします。					主な協働・関連団体等	医療機関		
事業概要	乳児健診受診券を2回分補助し、愛知県内医療機関で1歳に達するまでの期間に健診を受けることができ、1回目は生後1か月、2回目は9～10か月を受診目安としています。また、保健センターで4か月児と1歳6か月児、3歳児健診を行っています。					関連する個別計画・根拠法令等	母子保健法		
事業の開始・終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】										
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	報償費	2,480	報償費	880	報償費	880	報償費	880		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	委託料	3,263	委託料	3,150	委託料	3,150	委託料	3,150		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	報酬等	1,021	報酬等	2,400	報酬等	2,400	報酬等	2,400		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	役務費	166	役務費	21	役務費	21	役務費	21		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	需用費	57	需用費	133	需用費	133	需用費	133		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
合 計	6,987	合 計	6,584	合 計	6,584	合 計	6,584			
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0			
成果指標			単位	現状値	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)	
				(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(4)	歯周病検診事業					健康推進課	歯科検診グループ	令和4年7月5日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	3	健康づくり・医療体制の充実						
	主要施策	4	歯科保健の充実						
	主要事業		歯周病検診事業						
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	3 すべての人に健康と福祉を 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	歯周病検診を実施することにより、生涯を通じた歯の健康づくりの関心を高めるとともに、早期治療によりう蝕や歯周病による歯の喪失を予防し、健やかな生活を図ることを目的とします。					主な協働・関連団体等	海部歯科医師会		
事業概要	母と子のしおりに妊産婦歯科健診受診券を添付し交付します。20歳, 30歳, 40歳, 50歳, 60歳, 70歳の節目に歯科無料クーポン券を個別通知するとともに、20歳以上の方には歯周病検診を実施します。					関連する個別計画・根拠法令等	健康増進法		
							弥富市健康増進計画		
							歯と口腔の健康づくり推進条例		
事業の開始・終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10		年度		

■事業費(単位:千円)【DO】									
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	
	委託料	2,254	委託料	2,683	委託料	2,683	委託料	2,683	
	(補助額)	483	(補助額)	533	(補助額)	533	(補助額)	533	
	役務費	203	役務費	221	役務費	221	役務費	221	
	(補助額)	96	(補助額)	100	(補助額)	100	(補助額)	100	
	需要費	140	需用費	122	需用費	122	需用費	122	
	(補助額)	47	(補助額)	51	(補助額)	51	(補助額)	51	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
合 計	2,597	合 計	3,026	合 計	3,026	合 計	3,026		
(補助額)	626	(補助額)	684	(補助額)	684	(補助額)	684		
成果指標			単位	現状値 (平成29年度)	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)
					令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 令和10年度
(4) 定期的(年に1回以上)に歯科検診を受診している率			%	64.2	65.9	65.3	65.5		70.0 75.0
指標の分析									
令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市民の方に対し歯科保健活動を十分に実施することが困難な状況でした。定期的に歯科検診を受診している率は横ばいで、コロナ禍のため検診控えも考えられます。定期検診の必要性を啓発していくことが重要です。									
■事業の評価【CHECK】									
項目	評価視点				評価の結果				
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか				歯周病検診を実施することにより、市民が歯周病やう蝕予防に関心をもち、早期発見・治療できるようにするため、引き続き実施していく必要があります。				
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性				検診内容や委託料については、歯科医師会弥富班代表の先生と話し合いをし、目的や情報の共有を図り、効率よく取り組んでいます。				
妥当性	・市・住民・団体に誰が実施するのが良いか				歯と口腔の健康づくり推進条例に基づき、市が歯周病検診を実施し、市民の方へ歯周病予防の必要性を啓発していきます。				
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果				歯周病検診を受けることで歯周病やう蝕・歯の喪失等の早期発見をして悪化する前に治療し、歯を長く健康に保つことに繋がります。				
■今後の進め方【ACTION】									
課長意見								方向性	
近年は予防歯科が中心となっているため、コロナ禍においても歯周病検診が充実するように、今後も現状の計画通りに事業を進めます。								現状維持	

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(5-1)	広域二次病院群輪番制事業					健康推進課	保健企画グループ	令和4年7月1日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	3	健康づくり・医療体制の充実						
	主要施策	5	地域医療体制の充実						
	主要事業		広域二次病院群輪番制事業						
SDGs 連携分野	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	目標 17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する								
	3すべての人に健康と福祉を 17パートナーシップで目標を達成しよう								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町及び飛島村における海部医療圏の救急医療対策のため、地域医師会及び第二次救急医療担当病院と協力し、円滑な運営を図ることを目的とします。					主な協働・関連団体等	津島市民病院		
							愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院		
事業概要	平日夜間並びに日曜日、祝日に、津島市民病院及び海南病院での外来及び入院患者への診療に対し、協定書に基づく負担金を交付します。					関連する個別計画・根拠法令等			
事業の開始・終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	広域二次病院群 輪番制負担金	4,130	広域二次病院群 輪番制負担金	4,130	広域二次病院群 輪番制負担金	4,130	広域二次病院群 輪番制負担金	4,130
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	合 計	4,130	合 計	4,130	合 計	4,130	合 計	4,130
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	

[illegible]

指標の分析

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	評価対象外
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	評価対象外
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	評価対象外
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果	評価対象外

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
対象外	対象外

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(5-2)	休日、夜間診療広域連携事業					健康推進課	保健企画グループ	令和4年7月1日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	3	健康づくり・医療体制の充実						
	主要施策	5	地域医療体制の充実						
	主要事業		休日、夜間診療広域連携事業						
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する								
		3すべての人に健康と福祉を 17パートナーシップで目標を達成しよう							
■事業内容【PLAN】									
事業目的	津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町及び飛島村における海部医療圏の平日夜間・休日における急病診療に対応するため、地域医師会と協調し、海部地区急病診療所運営事業を実施します。					主な協働・関連団体等	海部医師会		
							津島市医師会		
							海部地区急病診療所組合		
事業概要	平日夜間並びに日曜日、祝日に、外来診療を行う海部地区急病診療所に対し、負担金を交付します。					関連する個別計画・根拠法令等			
事業の開始・終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	海部地区急病診療所組合負担金	8,342	海部地区急病診療所組合負担金	3,679	海部地区急病診療所組合負担金	3,700	海部地区急病診療所組合負担金	3,700
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
合 計	8,342	合 計	3,679	合 計	3,700	合 計	3,700	
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	

[illegible]

指標の分析

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	評価対象外
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	評価対象外
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	評価対象外
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果	評価対象外

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
対象外	対象外

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(5-3)	病院施設整備補助事業					健康推進課	保健企画グループ	令和4年7月1日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	3	健康づくり・医療体制の充実						
	主要施策	5	地域医療体制の充実						
	主要事業		病院施設整備補助事業						
SDGs 連携分野	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	目標 17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する								
	3 すべての人に 健康と福祉を 17 パートナーシップで 目標を達成しよう								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	地域医療の拠点である海南病院は、この地域では広域二次病院として必要不可欠な医療機関であるが、老朽化、狭隘化、耐震性の問題等があり、平成23年度より改築工事を行っており、この改築費用（施設整備費）に対し財政支援を行います。					主な協働・ 関連団体等	愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院		
							愛西市、蟹江町、飛島村、木曽岬町		
事業概要	愛西、蟹江、飛島、木曽岬の4市町村とともに19億円の財政支援を行い、そのうち弥富市分（7億9,420万（15年間合計））を負担します。					関連する 個別計画・ 根拠法令等			
事業の開始・ 終了	開始年度	令和元	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	海南病院施設整備事業補助金	52,940	海南病院施設整備事業補助金	52,940	海南病院施設整備事業補助金	52,940	海南病院施設整備事業補助金	52,940
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
合 計	52,940	合 計	52,940	合 計	52,940	合 計	52,940	
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	

[illegible]

指標の分析

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	評価対象外
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	評価対象外
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	評価対象外
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果	評価対象外

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
対象外	対象外

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(5-4)	病院運営費補助事業					健康推進課	保健企画グループ	令和4年7月1日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	3	健康づくり・医療体制の充実						
	主要施策	5	地域医療体制の充実						
	主要事業		病院運営費補助事業						
SDGs 連携分野	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	目標 17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する								
	3 すべての人に健康と福祉を 17 パートナーシップで目標を達成しよう								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	海南病院は平成25年9月よりこの地域では唯一の救命救急センターとして指定されており、基幹病院として地域の暮らしを支えています。今後も救急医療や高度医療機能を十分かつ継続的に発揮していくために専門的な人材の確保や適正な医療体制が行えるよう財政支援を行います。					主な協働・関連団体等	愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院		
事業概要	愛西、蟹江、飛島、木曽岬の4市町村とともに5,000万円の財政支援を行い、そのうち弥富市分（2,110万円）を負担します。					関連する個別計画・根拠法令等	愛西市、蟹江町、飛島村、木曽岬町		
事業の開始・終了	開始年度	平成30	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	海南病院運営費 補助金	21,100	海南病院運営費 補助金	21,100	海南病院運営費 補助金	21,100	海南病院運営費 補助金	21,100
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
合 計		21,100	合 計	21,100	合 計	21,100	合 計	21,100
(補助額)		0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度	

指標の分析	
-------	--

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	評価対象外
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	評価対象外
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	評価対象外
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果	評価対象外

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
対象外	対象外

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(6-1)	特定健康診査、特定保健指導事業（再掲）					保険年金課	特定健診グループ	令和4年6月29日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	3	健康づくり・医療体制の充実						
	主要施策	6	国民健康保険財政の安定化						
	主要事業		特定健康診査、特定保健指導事業（再掲）						
SDGs 連携分野	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	3 すべての人に 健康と福祉を 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	メタボリックシンドロームの該当者、予備軍を早期に発見し、保健指導や適正な治療につなげ、生活習慣病の早期発見と予防をするとともに医療費の抑制を目的とします。					主な協働・ 関連団体等			
事業概要	40歳から74歳までの国保加入者を対象として健康診査を行い、健康の保持に努める必要がある方に対し特定保健指導を行います。					関連する 個別計画・ 根拠法令等		高齢者の医療の確保に関する法律	
								国民健康保険法	
								データヘルス計画	
事業の開始・ 終了	開始年度	平成20	年度	終了年度	令和10	年度	特定健診審査等実施計画		

■事業費(単位:千円)【DO】										
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	特定健康診査委託料	28,890	特定健康診査委託料	38,474	特定健康診査委託料	38,474	特定健康診査委託料	38,474		
	(補助額)	10,024	(補助額)	13,356	(補助額)	13,356	(補助額)	13,356		
	郵送料	814	郵送料	1,104	郵送料	1,104	郵送料	1,104		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	特定保健指導委託料	529	特定保健指導委託料	1,238	特定保健指導委託料	1,238	特定保健指導委託料	1,238		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	消耗品費	95	消耗品費	100	消耗品費	100	消耗品費	100		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
報償費	80	報償費	110	報償費	110	報償費	110			
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)				
合 計	30,408	合 計	41,026	合 計	41,026	合 計	41,026			
(補助額)	10,024	(補助額)	13,356	(補助額)	13,356	(補助額)	13,356			
成果指標			単位	現状値 (平成29年度)	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)	
					令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度
(6) 特定健診受診率 (40 歳以上国保加入者対象)			%	43.6	45.1	39.9	42.9		60.0	65.0
指標の分析	令和2年度はコロナ禍により受診控えがあり健診受診率が低下しましたが、ナッジ理論を用いたデザインと個人に合わせた内容で健診受診勧奨通知を行い、令和3年度は受診率が42.9%と持ち直しました。目標値までまだ到達していないので令和4年度はA I を活用した未受診者勧奨を行う予定です。									
■事業の評価【CHECK】										
項目	評価視点				評価の結果					
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか				特定健診により、メタボリック症候群の該当者や予備軍を早期発見し、保健指導を行うことで生活習慣病の発症を防ぐことができます。また、医療が必要な方には受診勧奨することで重症化を予防することができ、医療費の増大を抑制することができます。					
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性				集団検診はweb予約、保健指導はI C Tで行えるように利便性を向上しました。					
妥当性	・市・住民・団体が誰が実施するのが良いか				高齢者の医療の確保に関する法律により、保険者が特定健診及び特定保健指導を実施する事を定めています。					
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果				令和2年度は受診控えのため健診受診率が下がりましたが、個人に合わせた受診勧奨通知により、受診率が持ち直しました。特定健診や特定保健指導により、生活習慣病の予防や重症化を予防できます。					
■今後の進め方【ACTION】										
課長意見							方向性			
令和3年度はコロナ禍の中でも各健診事業が予定どおり行われ、効率的に受診勧奨を行ったことにより、受診率が向上しました。令和4年度はさらに受診率を向上するため、新たな取り組みを行う予定です。							改善			

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(6-2)	ジェネリック医薬品の使用促進事業					保険年金課	特定健診グループ	令和4年6月29日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	3	健康づくり・医療体制の充実						
	主要施策	6	国民健康保険財政の安定化						
	主要事業		ジェネリック医薬品の使用促進事業						
SDGs 連携分野	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	3 すべての人に 健康と福祉を 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	新薬と治療学的に同等であるものとして承認された安価な後発医薬品（ジェネリック医薬品）を普及させることにより、患者負担の軽減や保険財政の改善に資することを目的とします。					主な協働・ 関連団体等			
事業概要	被保険者が調剤薬局などでもらった薬の中でジェネリック医薬品があるものを抽出し、切り替えた場合にどれくらい安価になるか個別に通知するとともに、ジェネリック促進のシールを配布し、制度を周知するとともに、切り替えやすい環境を整えます。						データヘルス計画		
事業の開始・ 終了	開始年度	平成25	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】										
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	共同処理委託	10	共同処理委託	61	共同処理委託	61	共同処理委託	61		
	(補助額)		(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)			
	郵送料	24	郵送料	152	郵送料	152	郵送料	152		
	(補助額)		(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	合 計	34	合 計	213	合 計	213	合 計	213		
	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0		
成果指標			単位	現状値 (平成29年度)	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)	
					令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度
(6) 国民健康保険被保険者 1 人当たりの医療費			円	318, 150	343, 888	351, 614	368, 225		320, 000	340, 000
指標の分析	令和3年度は8月と2月の年2回、計369件にジェネリック医薬品差額通知を実施しました。数量シェア率（浸透率）は80%を超え、年2回の効果判定によると143,991円の医療費削減効果がありました。今後もジェネリック医薬品使用促進を啓発することで医療費増加の抑制につながると予想されます。									
■事業の評価【CHECK】										
項目	評価視点				評価の結果					
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか				ジェネリック医薬品を使用することにより、医療費の削減及び保険財政の安定を図ることができ、医療の適正化につながります。					
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性				令和3年度は年2回、ジェネリック医薬品差額通知を実施し、143,991円の医療費削減効果がありました。40代の健診未受診者に健診受診勧奨通知でも啓発しました。					
妥当性	・市・住民・団体が誰が実施するのが良いか				年に2回、ジェネリック医薬品差額通知を送付し、医薬品の現状を伝えることにより、被保険者が医薬品を選択できる支援をするため、保険者の市が通知する必要があります。					
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果				ジェネリック医薬品の使用率は82.4%(令和4年3月時点)であり、今後も通知により啓発が必要です。					
■今後の進め方【ACTION】										
課長意見							方向性			
ジェネリックに切り替えることにより医療費の削減効果の期待できる薬剤について、ピンポイントで抽出し差額通知を行いました。医療費増加の抑制につなげるため、今後もジェネリック医薬品の使用促進の啓発を様々な方法で行っていきます。							現状維持			

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(6-3)	重複・頻回受診指導事業					保険年金課	特定健診グループ	令和4年6月29日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	3	健康づくり・医療体制の充実						
	主要施策	6	国民健康保険財政の安定化						
	主要事業		重複・頻回受診指導事業						
SDGs 連携分野	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	3 すべての人に健康と福祉を 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	重複受診、頻回受診、重複服薬をしている方の健康増進及び健康被害の防止のため健康相談や受診指導を行うとともに医療費増加の抑制を図ります。					主な協働・関連団体等			
事業概要	レセプト点検や国民健康保険団体連合会のリストを活用し、該当者を抽出、保健師による健康相談を行います。						データヘルス計画		
事業の開始・終了	開始年度	平成28	年度	終了年度	令和10	年度	関連する個別計画・根拠法令等		

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
		0		0		0		0
	(補助額)		(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	合 計	0	合 計	0	合 計	0	合 計	0
	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度	
(6) 国民健康保険被保険者 1 人当たりの医療費	円	318, 150	343, 888	351, 614	368, 225		320, 000	340, 000	

指標の分析	重複受診、頻回受診、重複服薬をしている方に健康相談や受診指導を行うことにより、健康増進及び健康被害の予防と医療費増加の抑制につながると予想されます。
-------	--

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	重複・頻回受診を行うことにより、過剰医療による被害を防ぐとともに医療費の適正化につなげます。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	市の保健師による指導のためコストがかかっていません。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	適正に医療受診ができるように、市の保健師など医療職が指導を行います。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果	生活習慣病の重複・頻回受診の対象者はおらず、指導は行いませんでした。重複服薬の対象者は2名いたため、通知を行い、内1名は電話でも指導しました。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
重度・頻回受診者を抽出し、保健師により適正化医療の指導を行うことで、薬剤の重複による健康被害が改善され、医療費増加抑制につながりました。今後も継続して指導を行います。	現状維持